

Ibara City Hospital

井原市立 井原市民病院

診療科目

内科・小児科・外科・整形外科
産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・
泌尿器科・放射線科・
リハビリテーション科

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地 TEL.0866-62-1133 FAX.0866-62-1275 E-mail:byoin@city.ibara.okayama.jp 発行責任者/工藤 尚文

合併による井原市民病院事業の推進

井原市民病院事業部長 池田 孝雄

井原市、芳井町、美星町の1市2町の合併により新しい井原市が誕生し、井原市民病院、美星国保病院が井原市民病院事業として新たなスタートを切りました。

両病院の生い立ちはいずれも似通っており、それぞれ、市、町の誕生に合わせ、昭和30年代に地域住民の厚い熱望により建設されました。

以来今日まで、地域の社会環境を踏まえつつ、また住民ニーズを取り入れながら、市民や町民の健康増進に努めてきたところでございます。

地域の皆様には、合併により、今後2つの病院の運営について、深い関心をお持ちのことと存じますが、それぞれの病院には、これまで培われてきた長い歴史がありますので、それらの地域性を大切にしながら運営を進める必要があると考えております。

一方、最近の医療環境は、制度改革により、当



時と比べ医師の確保が難しいことや住民ニーズも多様化していること、また地理的、社会環境的に不利な立場にあることなどにより、運営そのものが難しくなっているのが現状です。これらを踏まえ、今後の市民の皆様の期待に添うべく、2つの病院がどういう形態で進んでいくのか、また生き残っていくのか、「今後の運営や経営のあり方について」慎重に方向付けをしていく必要があります。

数多くの課題を包含した事業のスタートではありませんが、「市民が安心して暮らせ、心のささえとなる病院」にしたいという願いをもって行動することが市民の皆様からの理解が得られ、病院としての存在意義に繋がるものと考えております。

これらのことを念頭において、病院間の協力や連携を強化することはもとより、さらなる使命感を持って日々の仕事を進めていきたいと考えております。

平成17年4月1日より 個人情報保護法が 施行されました

個人情報保護は、憲法に定める個人の尊厳、プライバシーの保護が具体化された法律です。

つまり、患者の情報を保護すること、患者本人が自分の情報をコントロールする権利を定めたものが個人情報保護法であると解されます。

具体的に言いますと、どこの病院でも患者本人の同意がなければ患者情報を提供することが出来ないこととなりました。このことは患者の家族・見舞い客・患者に関係する方々に大変なご

新任医師紹介



小児科医 山口 和誠

4月から小児科で勤務いたします山口です。こちらに赴任する前は児島市民病院に勤務してまいりました。小児科は医師が一人ということですが、できることが限られてしまっていますが、できる限り地域の皆さんに満足していただけるような医療を提供できるよう努力していく所存です。いろいろとご迷惑をおかけすることと思いますが、宜しくお願い申し上げます。



内科医師 山西 あさみ

5月から内科で勤務することとなりました山西です。10年ほど以前に短期間ではありますが、こちらへはパートで勤務させていただきましたことでもあります。いたらないところも多々あるとは思いますが、できる限り努力していきまします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

迷惑をお掛けするようになっております。

・電話による患者様への問合せには、原則お答えしておりません。(本人の同意が必要)

・来院された患者様への問合せについては、患者本人の同意を得るか、患者様との関係をお聞きするなどしてまいります。

・市民病院としては、この法律を遵守し個人情報保護に全力で取り組むこととし、個人情報の取り扱いには、細心の注意を払っています。

・病院業務で想定される利用目的や患者情報の保護に関する周知のため院内掲示をしております。

・入院患者に対して病室内・病室表示の同意を取ることとしてまいります。

最後に、市民病院においてになる患者様やその関係者にご不便をおかけすると思いますが、この法律をご理解の上ご協力賜りますようお願い申し上げます。

休診日 会計変更のお知らせ

5月から院都合により休診日(土曜・日曜・祝日)及び夜間診療における救急患者様の会計を一律5000円預かり金として申し受けます。

また、日直及び当直者が総合受付カウンターで受付を行いますので、急患の方は救急出入口から入り、中央処置室付近でしばらくお待ちください。

受付の際には、診察券・保険証を必ず持参してご提示ください。

診療が終わられましたら、会計を済ませてお帰りください。

後日精算し過不足が生じた場合、電話連絡させていただきます。(休日当番医の日は、従来どおりすべて会計処理します。)

患者様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

5/12 看護の日記念行事

無料健康診断
身長・体重・血圧・検尿

健康体操
やさしい高齢者体操

栄養指導
骨粗鬆症予防のための食事についてなど

小児科 午後診療 はじめました

診療時間は以下の通りです。

	午前	午後
月曜日	一般診療 8:30~11:30	一般診療 13:30~16:45
火曜日	一般診療 8:30~11:30	予防接種(予約制) 14:00~15:00
水曜日	一般診療 8:30~11:30	予防接種(予約制) 14:00~15:00 一般診療 15:00~16:45
木曜日	乳児健診(予約制)	一般診療 13:30~16:45
金曜日	一般診療 8:30~11:30	一般診療 13:30~16:45

井原市民病院基本理念

1. 患者の権利を尊重し、情報提供によって患者が納得出来る医療を行い、地域住民に信頼される病院を目指します
1. 医学の進歩に相応した高いレベルのしかも安全管理が行き届いた医療が行えるよう、日々研鑽に励みます
1. 地域医療体系の…環として相互の連携を密にし、機能分担を考慮した効率的な医療を提供します
1. 医療を受ける側の身になって考え、暖かい心の手を差し伸べることを忘れません

井原市民病院職員の誓い

1. 私たちは、市民の生命(いのち)と健康を守り、心のこもった診療をいたします。
2. 私たちは、質の高い医療を目指し、日々研鑽いたします。
3. 私たちは、病める人の身になって考え、最善の理解者となるよう努力いたします。

前立腺癌のお話

泌尿器科

西村 元一



前立腺癌は前立腺より生じる癌で、25年前と比較して昨年前立腺癌の死亡数は15倍に、2015年には2000年の倍以上になると予測されており、中高年の男性には注意が必要な病気のひとつとなりつつあります。急増の理由として、食生活が高脂肪食の欧米化に変化したこと、高齢化社会への変化、さらには前立腺癌の早期診断が可能になったことなどが挙げられます。

前立腺癌の発生する場所は一般的に前立腺の外側部分で、一方前立腺肥大症は尿道を包んでいる内側の部分が肥大します。この違いにより、前立腺癌初期は尿が詰まるなどの症状が出にくく、やがて癌が進行するにつれて尿道が圧排されるようになり、前立腺肥大症と同じ様な症状が出現するようになります。放置して膀胱などの周囲の臓器まで進行すると血尿やむくみが現れ、さらに骨などに転移が起これると痛みが生じるようになります。

前立腺癌の検査には、まず血液検査が必要で、腫瘍マーカーPSAの値を測定します。血液を数cc採るだけで調べることができます。前立腺肥大症や前立腺炎などでも測定値が異常になることもありますが、PSA値が4以上の場合約20%、10以上の場合約50%に前立腺癌を認めます。4以上で発見された

前立腺癌の95%は早期癌であり、大部分の人が無症状です。次に前立腺肥大症と同じ様に、直腸に指を入れて、直腸の壁越しに前立腺を触診します。一般的に前立腺癌の部分は硬く触れます。その他、超音波検査、レントゲン検査、MRIなどの検査がありますが、大部分の方はPSA測定と直腸診と超音波検査など、負担のない検査で前立腺癌の可能性があるかどうか調べる事ができます。

前立腺癌の確定診断には直腸などから前立腺に針を刺して前立腺の組織を一部とる生検が必要です。前立腺癌で重要な事は、50歳以上の男性の方は、排尿に異常がなくとも前立腺癌の検査(PSA採血)を受けることをおすすめします。2000年度全国3233市町村中475市町村(14.7%)で前立腺の集団検査が実施されるようになっており、人間ドックでも前立腺検査を実施している医療機関も増加しています。

褥瘡対策委員会活動の紹介をします

褥瘡対策委員

矢本 京子

褥瘡(床ずれ)の主因は圧迫による局所の血行障害です。病態に加えさまざまな要因で発生します。以前は各科や各病棟単位で予防や治療を行っていましたが、H14年より診療報酬の改定による褥瘡対策未実施減算が実施され、H16年からは褥瘡患者管理加算となり本院でもH14年に褥瘡対策委員会が設立されました。医師2名、看護師5名、薬剤師1名、栄養士1名、医事係1名よりなる褥瘡対策チームです。

当初の活動は、①入院患者の褥瘡発生危険因子の評価②褥瘡対策診療計画書作成③院内の褥瘡発生状況調査・報告を行いました。H15年4月より笠岡市民病院皮膚科 戸井先生に来ていただき毎月1回褥瘡回診と回診の後、症例検討を始めました。予防策としての体圧分散マットレスの購入とその有効利用、ケア方法の学習などを行ってきました。

現在はH16年4月より戸井先生の後任 笹木慶子先生による月に一度の回診と症例検討が続いています。今後は、褥瘡の予防、治療に低栄養の改善が重要なキーワードとなると思われるので、栄養の改善、管理にも着目して活動し

- メンバー紹介
- 医師 細羽 俊男
 - 看護師 笹木 慶子
 - 矢本 京子
 - 久安 茂美
 - 渡辺 栄子
 - 亀山 鈴
 - 土田 都子
 - 片山 聖子
 - 薬剤師 川上 由美
 - 栄養士 森山 智子
 - 医事係 藤井 護



4月の回診の様子です

眼の花粉症(アレルギー性結膜炎)について

眼科

岸本 典子



春先2月から4月(つばい)までスギ花粉症の時期です。今年のスギ花粉飛散は、例年の数倍から数十倍と非常に多いと予想されています。また、日本人の10人に15人が花粉症であり、その約8割がスギ花粉によるものだとされています。現在、花粉症でお悩みの方も多いと思います。そこで、今回は、眼の花粉症であるアレルギー性結膜炎について、症状、治療法、予防法をお話します。

ある特定の物質(アレルゲン)に体が過敏に反応することを、アレルギー性花粉症は、花粉によって引き起こされるアレルギー性の病気です。症状は、眼と鼻に現れますが、眼の症状は、かゆみ、なみだめ、充血、目やになどで、アレルギー性結膜炎と呼ばれています。そして、多くは、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの鼻の症状(アレルギー性鼻炎)を伴います。

治療は、アレルギーの反応を抑える(抗アレルギー)点眼薬、点鼻薬、目薬、花粉飛散の2〜3週間前から点眼を開始するより効果的です。また、症状の強い方には、ステロイド点眼薬を併用します。ただし、ステロイド点眼薬には、白内障、緑内障、細菌などに感染しやすくなる...等の副作用があるため、眼科医師の指導のもとでこれらの副作用に注意しながら、短期間に効果的に使うことが大切です。また、コンタクトレンズを装

用している方は、コンタクトレンズの刺激によりアレルギー性結膜炎が悪化する可能性がありますので、期間中は眼鏡に変えた方がよいと思われます。花粉症対策(予防法)の基本は、花粉との接触を避けることです。外出時にマスクや眼鏡を装着することは、眼や鼻の花粉の侵入を防ぐ意味で効果的です。眼から花粉を洗い流す目的で、帰宅時に人工涙液を多く点眼し、ティッシュペーパーで取り除くことも有効です。天気の良い風の強い日にはできるだけ外出を控え、家の戸・窓を閉じて花粉の侵入を防ぐことも大切です。

くしゃみ、鼻水、鼻づまりなど症状に、眼のかゆみ、なみだめ、充血、目やになどの眼症状を伴った場合には、耳鼻科だけでなく眼科も受診してください。そして、花粉症(アレルギー性結膜炎)と診断されたら、点眼薬の治療を受けながら上記のような自分でできる予防法を行い、花粉症の時期を上手にのりきってください。さらに、次の年は、花粉飛散の2〜3週間前から抗アレルギー薬の点眼を開始して、少しでもアレルギー性結膜炎の症状を軽くするようにしましょう。

第3回目の井笠地域リハビリテーション

広域支援センター研修会

理学療法士 中島 均

平成17年2月15日に井原市民会館で第3回目の井笠地域リハビリテーション広域支援センターの研修会として、くらしき作陽大学音楽学部教育音楽学科音楽療法専修の米倉裕子先生をお招きし、「音楽療法について」という題で講演をしていただきました。井笠地域のリハビリテーション関連職種の方が17名参加してください。会場も満員の状態で盛況に終わりました。音楽は生活の中で親しみ、誰でも一度は楽器に触れる機会もあった身近なものです。その音楽を用いたまだ新しい療法について外国と比較しながら日本の音楽療法の歴史や、音楽療法の定義、人間に与える音楽の影響、音楽療法の対象者、具体的な方法、今後予想される音楽療法の展開等についてスライド、ビデオを用いて講演をして

ださいました。当院でも平成16年度に約5ヶ月間、音楽療法を療養病棟で行い患者様に好評で、入院生活で不安を抱く患者様の意欲の向上に寄与したと思います。



接遇研修

接遇委員

平井 千枝子

今回、接遇研修のねらいとしては、接遇マナーの理解・仕事の意義を再確認することにあつたがどれだけのことを各自が得られたらどうか。

研修の内容として、まず、世間から求められる病院像についてのお話があった。求められる病院像は1、医療技術の高い病院 2、通院に便利 3、スタッフの態度・言葉遣いが良いというものである。病院にとってのリピーターとなる患者様の確保が必要である。そのためには病院が、これらの要素を踏まえた上で、さらに「心の満足」が得られるような職員一人一人の心がけ・努力からくるサービスの向上がなければならない。

心の満足のためのサービスの6S①セイフティ②安心③スマイル④スピード⑤きびきび⑥シンシアリティ⑦誠意⑧スマート⑨確実性⑩スタディ⑪初心を各自がどれだけできているだろうか。意識は6Sに切り替えよう。



検査科だより

超音波検査

超音波検査士 太田 直樹



超音波検査は、非侵襲的で簡単に繰り返し行えることから広くスクリーニング検査として施行されてきました。そして現在では、スクリーニング検査としてのみならず、造影検査やUSガイド下で行われる細胞診・組織診などの確定診断法としても活用されています。近年の超音波診断装置の進歩は目覚しく、フルデジタル化された装置の登場により分解能およびS/N比が飛躍的に向上し、鮮明な画像が得られるようになりました。

また、高周波探触子の登場とドブラ法の普及により腹部領域のみならず、乳腺・甲状腺や血管領域にまで検査範囲は広がっています。井原市民病院超音波検査室にも、アロカ社の最上位機種であるSSD16500が導入されており、腹部・心臓に加え乳腺・甲状腺・血管・その他、多岐にわたる領域・疾患の検査が可能となっています。しかし、機器の高性能化や検査領域の拡大にともない、検査者にも幅広い知識と技術が要求されるようになってきました。これからは常に新しい知識と技術を身につけるように努力し、今後の検査に役立てていきたいと思っております。

院内感染対策講演

第2回院内感染対策講演会がこのほど開催されました。前回と同様、講師に山本博基様をお招きし、結核対策の公演をして頂きました。標準及び空気感染予防対策等現在の状況に即したお話をされとても勉強になりました。

近年、老人・若者の結核感染者が増加してきています。患者様、職員共に感染しないよう無

